

# 消費生活安心ガイド

## くらしの消費者になろう

### 第2回 くらしのクリエイターをさがす

#### ★くらしのクリエイターとは

地域における消費生活のリーダーとして、消費生活に関する簡易な相談や情報提供、被害の未然防止のために、兵庫県知事から委嘱された方です。

#### ★養父市のくらしのクリエイターさんは？

- 嵐下ヨコ子さん(八鹿町舞狂)
- 河原妃富美さん(八鹿町九鹿)
- 松田智恵子さん(八鹿町九鹿)
- 山崎たみ子さん(三谷)

※委嘱期間は、平成19年4月1日～平成21年3月31日です。

### 5月は

### 「消費者月間」です

#### ★平成20年度テーマ

「活かそう 消費者・生活者の視点」

近年、耐震偽装問題、食品の不正表示など、日常生活に大きな不安をもたらす事件や事故が相次いで発生しています。

現在、生産第一という思考から、消費者の安全・安心が重視されなければならない時

代になっていきます。そのためには、行政、企業、消費者のそれぞれが、次のような行動をとることが期待されます。

- 行政は、住民の安全・安心を確保する支援体制を整備し、消費者・生活者の視点にたった行政へ大きく転換する。
- 企業は、法令遵守を徹底し、消費者の信頼を損なうことのない製品・サービスを提供できるよう、品質管理の向上を図る。
- 消費者は、自らの暮らしの安全・安心を見直し、改善要望、対策などに関する消費者の声を企業・行政に積極的に届ける。

皆さんも、暮らしの問題に日ごろから関心を持ち、安全で安心できる日常生活を送りましょう。

#### ◎消費生活に関するお問い合わせ

市役所市民課(☎662-13163)、但馬生活科学センター(☎0796-2310999)

### まちの文化財④

#### 山路寺の障壁画



4面に樹幹を描き、西側4面に1本の枝を書いています。松の太い幹と1本の枝を描くだけで、力のこもった太い墨の線によって迫力にみちた松の巨木を表現しています。

虎の間は渓流猛虎図襖で、3方向にある襖16面に、岩をめぐって流れる渓谷に遊ぶ虎の群れが描かれています。背を丸めて吠える虎、岩にうづくまる虎、岩から岩へと跳びはねる虎、さまざまに虎が精細な筆致で表現されています。虎の表情は写実的で躍動感にあふれ、渓谷の流れは激流から静流へと変わり、動から静へと連続する物語を作っています。

大屋地域局の南側の小高い山の上には山路寺があります。ここには、鳥取藩の絵師として活躍した片山楊谷が描いた絵画が兵庫県指定文化財として保存されています。絵画は襖28面、小襖2面、二曲屏風1隻、軸物3幅の合計34点です。

片山楊谷は、円山応挙とも交わりをもつて写実的な絵画を描きました。享和元年(1801)8月に42歳で亡くなったことから、寛政12年(1800)年5月に制作された山路寺の襖絵は最後の大作となりました。

本堂には、描かれた襖絵によって松の間、虎の間、孔雀の間と呼んでいる3部屋があります。松の間は老松図襖で、北側

これらの絵画は鳥取県でもなかなか見られない大作で、片山楊谷の画業を語るうえで大変重要な作品です。立派な襖絵が並んだ山路寺は、片山楊谷の美術館と呼ぶべき高い文化財的価値があります。(社会教育課)